

2022年度

ニュージーランド留学報告書

実習先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間： 9月19日 ~1月20日

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21020008  
氏名：板垣 真夢

## 目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4・5
4-2. 留学の詳細	6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	7
7. 謝辞	7

## 付録

留学日誌と文化について	8
-------------	---

## 1. 留学先及び実習期間

留学先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：令和4年9月19日(月)～令和5年1月20日(金)

※帰国は1月21日(土)

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

ニュージーランド国立ワイカト大学(The University of Waikato)は、1964年に設立され、ニュージーランド北島北中央部ワイカト地方の中心となるハミルトン市に位置する国立総合大学である。大学には約12,000人の学生が通っており、人文社会学部やコンピューター数理学部といった学部に加え、マオリ・先住民学部というニュージーランドの先住民族・マオリについて学ぶ学部も備えている。キャンパス内には、図書館、コンピュータールームといったものからスポーツジム、テニスコート、サッカー・ラグビーフィールドまで様々な施設が用意されている。

### (2) 大学で行われている教育について

ワイカト大学は他国から多くの留学生を受け入れている。留学生は事前にテストを受け、その結果によってクラス分けが行われる。クラスは8段階に分かれている。留学生は、今回の新潟国際情報大学の留学目的のように英語を上達させるために来ている学生以外にも、ワイカト大学に編入し卒業することを考えている学生もいた。

## 3. 留学目的

今回の留学における個人的な目的は、2つある。1つ目は、英語を上達させるためである。日本にいと、なかなか英語を使う機会がない。そのため、日常的に英語が話されている環境下に行くことによって、今までの教育課程で習ってきた英語表現を使い、更に新しい単語や表現と出会うことに繋がると考えた。2つ目は、異文化交流や異文化理解をするためである。ニュージーランドは、移民の受け入れに積極的であり、英語を母国語としない人々も多く存在する国である。そのため、1つの国でありながら、たくさんさんの文化を知り、触れる機会があると考えた。

## 4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

#### 4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	17	成田空港から出国
	18	オークランド空港に到着→各自ホストファミリーの家に移動
	19	オリエンテーション
	20	General English 開始
10	1	Hobbiton Movie Set Tour
	8	Waitomo cave Tour
	9	Rotorua Tour
	10	授業後に Maori Study (3:15pm-4:45pm)
	11	授業後に Maori Study (3:15pm-4:45pm)
	21	General English 終了
	31	Academic English 開始
11	29	テスト開始
12	2	テスト終了
	17	Christmas & New Year Holiday 開始
1	3	Christmas & New Year Holiday 終了
	17	テスト開始
	20	テスト終了、オークランドに移動
	21	帰国

##### i) 大学行事

10月21日に general English コース終了を祝って、ハロウィンパーティを行った。留学生が勉強する建物で行われ、学生だけではなく、先生たちも仮装をしてコース終了を祝った。仮装のコンテストも行われた。先生たちは、蛇や蜘蛛に見せかけた怪しげな手作り料理を持ってきてくれた。

##### ii) 異文化体験

9月末にワイカト大学の学生が主体となった様々な国に関するワークショップが行われ、そこに参加した。例えば、中国のワークショップでは、中国料理が食べられたり、習字や折り紙の模様切りをしたりして、中国文化を楽しみながら学んだ。また、ニュージーランドの先住民族・マオリについて学ぶこともあり、そこでマオリの言葉や、マオリのダンスであるハカを習った。

### iii) ボランティア

大学のボランティア団体である EPA を介して、クリスマスにショッピングモール内でラッピングのボランティアを行った。ラッピングをする代わりに募金を頂く活動だった。ラッピングの要望を英語で尋ねるため、簡単な英語ではあるが、知らない人と話す良い機会になった。

### iv) 現地での交流

毎週木曜日の放課後に開かれる English Club で知り合った現地の学生とご飯を食べに行ったり、ドライブに行ったり、海や動物園に遊びに行ったりした。それ以外にも、大学内に中国人留学生が多く、話しかけられたことがきっかけで、仲良くなることがあった。

### v) 観光

新潟国際情報大学のメンバーでは、Waitomo Cave, Hobbiton Movie Set といった観光地に行った。大学側でも留学生用のツアーがあり、希望制で参加が出来た。個人的には、クリスマスホリデーや休日を利用して、北島最大都市のオークランド、首都のウェリントンや南島の最大都市クライストチャーチに行った。

## 4-2. 留学の詳細

### ・時間割

午前の授業は前半後半に分かれており、10時半頃に休憩がある。

午後の授業での休憩は14時頃にある。

木曜の15時から16時は、ワイカト大学の学生と話す、English Club がある。

金曜の13時から15時は、国際情報大学だけの特別授業がある。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00 ~ 12:00	class	Class	Class	Class	class
12:00 ~ 13:00	Lunch Time				
13:00 ~ 15:00	Class	Class	Class	Class	特別授業
15:00 ~ 16:00				English Club	

#### <授業概要>

- ・ General English Class (9月19日から10月21日の5週間)

主に日常生活で使う英語の習得と目指し、4技能をバランスよく学ぶクラス。クラスによって内容が大きく異なり、授業内容に先生の個性が出る。私のクラスの場合、英語を使ったゲームや勉強している建物 (LAIN building) の外に出て知らない人にインタビューするといったこともあった。

- ・ Academic English Class (10月31日から1月20日の10週間)

英語圏の大学や大学院進学、その後のキャリアにも活かせるアカデミックな英語を学ぶクラス。レベル1から8までに分かれている。General English Class と最も異なる点としては、テストの有無で、テストは、Writing, Speaking, Listening, Reading の4技能を見られる。テストは、speaking 以外は自分のパソコンを使って行われる。

- ・ English Club

毎週木曜日に開催されているワイカト大学の学生のうち、日本語や中国語を学んでいる学生が LAIN に来て一緒に話をする時間。仲良くなった学生とご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりする留学生も多かった。

- ・ Special Class

金曜日の13時から15時までの国際情報大学の学生だけの特別な授業。2人の先生達が毎週交互に、英語を使った楽しい授業をする。例えば、洋楽を歌ったり、英語のクイズをしたり、誕生日をしたりした。

#### 5. 当初目的・目標への達成度

当初今回の留学の目的は、英語の上達と文化交流・理解だった。まず、英語力に関しては、4技能全てにおいて向上していると感じた。特に、スピーキング力が上がったと思われる。目的のところでも述べたように、日本では日本語がどこでも通じるため、英語を使う機会がほとんどなく、これまでの英語学習ではスピーキング力が足りていなかった。そこで、ホストファミリーや現地の学生とのコミュニケーションを通じて積極的に話すことを意識するようになった。また、文化交流や理解という点では、マオリの文化を大学や博物館などでたくさん学べた。私がニュージーランドで知り合った人は、キウイ (ニュージーランド出身の人) が少なく、ニュージーランドにいながら、たくさんの方の国の言語や話など聞くことができ、とても面白い体験になった。

## 6. 反省点・課題

日本人同士でいるとき、日本語で話してしまうことが多かったことが一番の反省点だと思う。休憩時間や校外だけならともかく、授業時間でも、クラスのほとんどが日本人であるため、先生の説明の確認などを日本語でしてしまうことがあった。説明の内容の確認まで英語でできればもっと英語力を伸ばせたと思うとそこが反省点だったと感じる。また、今後の課題としては、単語力が挙げられる。一度、観光に行く際に国内線を利用したが、ゲートを通過する前に何か言われたが、聞き取れないことがあった。単語を理解していないと聞き取れないこともあると考えられるため、単語力を強化していきたい。

## 7. 謝辞

今回お世話になったニュージーランド国立ワイカト大学の先生方、ホストファミリー、その他携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方、本当にお世話になりましたことを心より感謝いたします。また新潟国際情報大学からの奨学金により留学することができました。そして、両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

## 付録：留学日誌

### <Christmas holiday>

12月17日から1月3日まで2週間ほどの休暇があったため、南島の最大都市であるクライストチャーチとニュージーランドの首都であるウェリントンへ旅行に行った。クライストチャーチでは、トラムという電鉄に乗り、街中を散策した。ウェリントンでは、国会議事堂を見たり、海岸近くまで歩いたりした。とても充実した旅行を送ることができた。また、ホストファミリーとは、オークランドにある遊園地と一緒に遊びに行った。様々な種類のアトラクションがあり、ホストファミリーとの最高の思い出の一つになった。

### ニュージーランドの文化について

- ・家は平屋が多い。
- ・左側通行で、日本車が多く見られる。歩道の信号は全て押しボタン式。
- ・街中にはごみ箱が多い。家庭ごみは日本に比べると分類が大雑把。
- ・街中でも緑が多い。
- ・マオリのタトゥーをしている人も多く、顔面にタトゥーの入っている人もいた。

